

県士会会員を対象とした生活困窮者支援に関する研修会

1. 開催趣旨

経済的困窮や社会的孤立など、課題を抱える人々の自立支援を目指す「生活困窮者自立支援制度」が平成 27 年 4 月から施行されました。本制度は、生活保護の手前段階にある生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」として、包括的な支援を提供するものとされています。しかし、これまでの困窮者支援を大きく変える出来事として、新型コロナウイルスにより全世界が揺れ、経済的打撃はこれまで平穏だった多くの市民を困窮者に陥れ、全国的にも生活福祉資金をはじめとする貸付相談や住居確保給付金等への相談が伸び、誰もが困窮者に陥る社会で過ごすことの実態が浮き彫りとなりました。支援者も、今もなお先の見えない相談支援を行っている実態があり、今後支援者へのフォローも必要と言われています。そこで本研修会では、生活困窮者支援を軸に取組まれている民間団体の活動を会員が知り、本会でも実施します家計改善相談支援の内容について会員が理解することで、今後県士会として、会員としてもソーシャルワーク実践に活かすことができるとの思いから、企画しています。

2. 主 催 一般社団法人宮崎県社会福祉士会（専門能力向上委員会）

3・日 時 令和3年7月24日（土曜日）12時30分から14時45分まで
※（zoom 接続含む）

4. 開催方法 オンライン（Zoom）

5. プログラム案（予定）

時 間	プログラム	内 容
12:30	Zoom 接続	
13:00～ 13:10（10分）	開会	開会あいさつ 一般社団法人宮崎県社会福祉士会会長 川崎順子 専門能力向上委員会委員長より本日の説明
13:10～ 13:40（30分）	実践者発表	株式会社ナチュラルビー代表取締役 長友宮子氏 テーマ「困窮者支援に向きあう民間団体の取組み」
13:40～ 14:10（30分）	実践者発表	NPO法人カーサ・グランデ理事長 野本修二氏 テーマ「困窮者支援に向きあう民間団体の取組み」
14:10～ 14:15（5分）	休憩	
14:15～ 14:35（20分）	実践者発表	宮崎県社会福祉士会家計改善支援事業 家計改善支援員 下屋マユミ氏 テーマ「県士会が行う家計改善支援について」
14:35～ 14:45（10分）	まとめ及び閉会	九州保健福祉大学社会福祉学部講師 日田 剛氏

6. 参加対象

県士会会員

7. 参加定員

100名（先着順） ※参加費無料

8. 申込方法

インターネットに接続したパソコン、タブレットから宮崎県社会福祉士会のホームページ (<http://www.miyazaki-csw.jp>) にアクセスして下さい。

参加申込用のフォームへ促すリンクがありますので、必要事項を入力の上、お申込みください。入力にはメールアドレスが必要となります。

または参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX または郵送にて下記事務局まで送付いただきますようお願い致します。

参加申込をされた方には、後日 ZOOM に必要な URL、ミーティング ID 及びパスワードをお知らせします。

9. 申込期限

令和3年7月16日（金曜日）

10. 注意事項

(1) ZOOM につきましては12時30分から入場可能にいたします。

(2) 参加される方はそれぞれの端末にて、各自 ZOOM の接続をお願い致します。

(3) ZOOM 参加時に不具合があった場合には、下記連絡先までご連絡ください。

一般社団法人宮崎県社会福祉士会（0985-86-6111）